



関中学校だより

学校評価特別号 令和6年2月1日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyky.ed.jp/>

令和5年度 より良い学校づくりアンケート 保護者・生徒・教員の平均値の比較

実施日 令和5年12月

対象者 保護者(219人 回答率 44.9%) 生徒(407人 回答率 83.4%) 教職員(23人)

点数振分 そう思う 4点、 ややそう思う 3点、あまりそう思わない 2点、そう思わない 1点

設問	評価項目	平均値		
		保護者	生徒	教職員
設問1	関中に通ってよかった。	3.4	3.3	
設問2	関中は、教育方針や重点目標を達成すべく努力している。	3.1		
設問3	関中は、教育方針や重点目標を家庭に伝えている。			3.0
設問4	教職員は、互いによく協力していると感じる。	3.1	3.4	2.9
設問5	教員は、子どもたちのために一生懸命、教育活動に取り組んでいる。		3.5	
設問6	教員は、学校で起こった諸問題について迅速に適切に対応している。	3.2	3.4	3.1
設問7	関中は、校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	3.1		3.0
設問8	関中は、図書室やコンピュータ室などの施設・設備を活用している。	2.7		2.7
設問9	関中は、教室や廊下、特別教室などの環境整備が行き届いている。	2.9		2.5
設問10	教員は、授業をわかりやすく工夫し教えている。	2.9	3.3	3.0
設問11	教員は、ICT機器やタブレットを授業で活用している。		3.3	2.9
設問12	教員は、個々の生徒の学習指導に熱心である。	2.9	3.3	3.0
設問13	教員は、学校の様子や学習状況などを保護者に伝え、子どもの学力等を適切に評価している。	3.1		3.0
設問14	通知表のつけ方を理解している。		3.4	
設問15	教員は、道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れている。	3.0	3.4	2.5
設問16	生徒は、読書に積極的に取り組んでいる。	2.4	2.9	2.5
設問17	生徒は、学校行事を楽しみにし、積極的に参加したいと考えている。	3.3	3.5	3.3
設問18	生徒は、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などに熱心である。	3.0	3.1	2.8
設問19	関中は、集団生活をする上での基本的な生活習慣・善悪の判断・社会生活のルールなどが身に付くように指導している。	3.2		2.8
設問20	関中は、望ましい勤労観や職業観を育てる指導を行っている。	3.0		2.6
設問21	関中は、生徒の健康・安全・食に関する指導を適切に行っている。	3.2		3.0
設問22	生徒は、充実した学校生活を過ごし、成就感や達成感を得ている。	3.2	3.1	2.8
設問23	関中は、家庭との連絡等意思疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できるようになっている。	3.2		3.2
設問24	関中は、授業参観など学校を公開するための努力をしている。	3.3		3.0
設問25	授業公開・学校行事・保護者会等には、積極的に参加しようと考えている。	3.2		3.0
設問26	学校から配布された資料を、家庭で子どもの指導に生かしている。	2.8		2.4
設問27	関中の教育活動に、保護者として支援・協力している。	2.8		2.7
設問28	あなたは、あいさつをしたり、学校のルールを守ったりしている。		3.5	
設問29	関中は、いじめ防止について適切な指導を行っている。			3.1
設問30	あなたは、いじめや仲間はずれをせず、相手の立場を尊重している。		3.6	
設問31	あなたは、将来の進路(夢や希望)について考えている。		3.1	
設問32	関中は、小中一貫教育を、関町北小、石神井台小とともに進めている。	3.2		3.0

今回のアンケートへのご協力をありがとうございました。ここですべてのご意見にご返答することはできませんが、分析と方策等をお伝えします。

- * 今年度、『「関中に通って良かった」が100%になる』を目標に教職員一丸となって頑張っておりました。アンケート結果で、『そう思う』または『やや思う』の回答が合わせて、保護者で87.7%、生徒が85.0%でした。今後も引き続き『「関中に通って良かった」が100%』となるような教育活動に努めていきます。
- * 学習指導に関して(設問5・10・11・12・13・14)
これまでと同様に、教員が分かり易い授業を展開するよう研修・研鑽に努めていきます。
教科担当が行う、基礎的な学習を深めたい希望者を対象とした放課後の補習教室と、地域の方が行う、学校生活になじみにくい生徒を主に対象とした個別対応の地域未来塾をより一層充実させていきます。
学習用タブレットに入っている、学習支援システム「ラインズ e ライブラリ アドバンス」は、小学校1年生から高校入試問題まで対応できるものです。一人一人の生徒が自分のペースで取り組める形になっているので、積極的な使用を呼びかけていきます。
授業内におけるタブレットの活用頻度は、教科における指導方法や指導内容によって異なってきますが、これまで以上の活用に向けて、より良い方法を検討していきます。
合理的配慮の一例として、黒板の書き写しが苦手な生徒には、タブレットのカメラ機能を活用出来るようになっています。その他ございましたら、教科担当に遠慮せずに申し出てください。
- * 道徳・進路・特別活動に関して(設問15・16・17・18・20・31)
これまで以上に道徳の時間を大切に、指導に力を入れていきたいと考えています。
地域の方や外部の方を講師としてお招きして行うキャリア教育の実施を今年度も実施いたしました。行事を通して、協力して行事を行う楽しさを学んだり達成感を味わい、仲間と共有し、生徒の個と集団における考え方や行動の仕方など様々な成長の様子が見られています。
読書(設問 16)に関しては、数値が低いことから、家ではほとんど本を開かない生徒が多いと予想されます。各教科で読書の大切さについて話をしますが、様々な場で本に親しむように成長してくれることを願っています。
- * 学校生活に関して(設問6・19・21・28・29・30)
全体を通して、生徒の数値が高く、充実している様子が見えがえます。
校内で起こる様々な問題に対して、可能な限り迅速に対応しています。その際、学校の経営方針でもある、教師による決めつけを行わず、一人一人の生徒を大切に、温かくも厳しい生徒が成長するような生活指導を行っています。また、トライ&エラーを重ねることで、人は成長することを学ぶと考えています。チャレンジすることのできる学校を目指し、教職員一丸となって失敗を恐れない雰囲気づくりに努めていきます。

【その他】自由意見より

- * 部活動の数に関しては、現状維持を基本としています。
教員の異動に伴い、新入部員の募集を行うことができない場合もあります。
- * 学校ホームページの学校生活について、定期的な掲載に努めていきます。
- * 校則については、毎年生徒会に改善点を検討するよう促しています。
- * 施設面における学校の安全性に関しては、日々の点検など、さらに注意を払って行います。
- * 教師の言動に関しては、教育公務員としての在り方を忘れないようこれからも指導していきます。

「何かございましたら、いつでも学校にご連絡またはご来校ください。」